

色	学年
黄	1
橙	2
紫	3
褐	4

2026(令和8)年度 交通機械工学科 学位授与方針対応表及び教育課程編成方針対応表

部門 (教養・専門)	領域	ナンバリングコード	授業科目	ナンバリング構成				学位授与方針対応表			教育課程編成方針				備考
				学部・学科	学年	部門(教養・専門)	領域	科目番号	幅広い教養と語学力を身につけて、それに裏打ちされた広い視野と高い倫理観をもって、交通機械の発展に貢献する意思と能力を有する。	機械工学と交通機械工学の専門分野に応じた科学・技術の基礎となる知識を修得し、それを活用して機械技術者として種々の問題を解決に向け取り組むことでできる能力を有する。	機械工学と交通機械工学に関する基礎科目により編成される。これらの科目を学ぶことにより機械技術者として幅広い視野と倫理観を養うと共に、交通機械工学の専門教育に進む上で欠くことのできない知識を養うことができるようとする。	①教養教育は、外国语、体育科学、人文科学、社会科学等の教養科目と数学、物理、化学、技術者倫理等の理工学基礎科目と、それに開連する演習・実験・実習が実施して、能動的学修を行うことができるようする。最終学年の4年次で行う卒業研究では、個別指導する体制を整え、学生が各自の達成度を把握し、将来計画に応じた学修を進めることができるようとする。	②専門教育では、交通機械工学の専門知識を深めるために機械工学の基礎から応用へ順次性を保ちながら、科目相互を体系的に編成している。講義科目と、それに開連する演習・実験・実習が実施して、能動的学修を行うと共に、複数の科目と、それに開連する演習・実験・実習が実施して、能動的学修を行うことができるようする。最終学年の4年次で行う卒業研究では、個別指導する体制を整え、学生が各自の達成度を把握し、将来計画に応じた学修を進めることができるようとする。	③教養教育で能動的学修の要素を取り入れた教育を用意する。さらに、専門教育では機械工学と交通機械工学を学ぶ動機付けの教育を行うと共に、複数の科目と、それに開連する演習・実験・実習が実施して、能動的学修を行うことができるようする。最終学年の4年次で行う卒業研究では、個別指導する体制を整え、学生が各自の達成度を把握し、将来計画に応じた学修を進めることができるようとする。	④交通機械工学科では、シラバスに示した内容に基づいて厳格に成績評価にて単位認定する。学生個別の成績表にもそれを記載して学修指導や各種順位づけに利用できるようにする。また、成績や学修態度を総合的に判断して授業を実施することにより、机上の学修によって求め幅広く専門知識を学び、機械技術者として社会の要望に自在に対応して問題を解決する能力を養うことができるようとする。
総合基礎部門		TT10001 英語コミュニケーション I	TT 1 0 0 01 ○												○
		TT10002 英語コミュニケーション II	TT 1 0 0 02 ○												○
		TT20001 英語コミュニケーション III	TT 2 0 0 01 ○												○
		TT20002 英語コミュニケーション IV	TT 2 0 0 02 ○												○
		TT30001 ブラクティカル・イングリッシュ I	TT 3 0 0 01 ○												○
		TT30002 ブラクティカル・イングリッシュ II	TT 3 0 0 02 ○												○
		TT10003 ドイツ語 I	TT 1 0 0 03 ○												○
		TT10004 ドイツ語 II	TT 1 0 0 04 ○												○
		TT20003 ドイツ語 III	TT 2 0 0 03 ○												○
		TT20004 ドイツ語 IV	TT 2 0 0 04 ○												○
		TT10005 フランス語 I	TT 1 0 0 05 ○												○
		TT10006 フランス語 II	TT 1 0 0 06 ○												○
		TT20005 フランス語 III	TT 2 0 0 05 ○												○
		TT20006 フランス語 IV	TT 2 0 0 06 ○												○
		TT10007 中国語 I	TT 1 0 0 07 ○												○
		TT10008 中国語 II	TT 1 0 0 08 ○												○
		TT20007 中国語 III	TT 2 0 0 07 ○												○
		TT20008 中国語 IV	TT 2 0 0 08 ○												○
		TT10009 体育科学 I	TT 1 0 0 09 ○												○
		TT10010 体育科学 II	TT 1 0 0 10 ○												○
		TT20009 体育科学 III	TT 2 0 0 09 ○												○
		TT20010 体育科学 IV	TT 2 0 0 10 ○												○
		TT10011 人文科学基礎 I	TT 1 0 0 11 ○												○
		TT10012 人文科学基礎 II	TT 1 0 0 12 ○												○
		TT10013 社会科学基礎 I	TT 1 0 0 13 ○												○
		TT10014 社会科学基礎 II	TT 1 0 0 14 ○												○
		TT20011 アジア文化論 I	TT 2 0 0 11 ○												○
		TT20012 アジア文化論 II	TT 2 0 0 12 ○												○
		TT20013 欧米文化論 I	TT 2 0 0 13 ○												○
		TT20014 欧米文化論 II	TT 2 0 0 14 ○												○
		TT30003 國際関係論	TT 3 0 0 03 ○												○
		TT30004 文学	TT 3 0 0 04 ○												○
		TT30005 日本国憲法	TT 3 0 0 05 ○												○
		TT30006 國際経済論	TT 3 0 0 06 ○												○
		TT30007 心理学	TT 3 0 0 07 ○												○
		TT10015 基礎セミナー I	TT 1 0 0 15 ○												○
		TT10016 基礎セミナー II	TT 1 0 0 16 ○												○
		TT30008 職業指導論	TT 3 0 0 08 ○												○
理工学基礎科目		TT11001 微分積分 I	TT 1 1 0 01 ○												○
		TT11002 微分積分 II	TT 1 1 0 02 ○												○
		TT11003 線形代数 I	TT 1 1 0 03 ○												○
		TT11004 線形代数 II	TT 1 1 0 04 ○												○
		TT11005 物理学 I	TT 1 1 0 05 ○												○
		TT11006 物理学 II	TT 1 1 0 06 ○												○
		TT11007 物理学演習	TT 1 1 0 07 ○												○
		TT11008 物理学実験 I	TT 1 1 0 08 ○												○
		TT11009 物理学実験 II	TT 1 1 0 09 ○												○
		TT11010 化学 I	TT 1 1 0 10 ○												○
		TT11011 化学 II	TT 1 1 0 11 ○												○
		TT11012 化学実験 I	TT 1 1 0 12 ○			</td									

部門 (教 養・ 専門)	領域	ナンパリング コード	授業科目	ナンパリング構成					学位授与方針対応表					教育課程編成方針					備考
				学部 ・学科	学年	部 門 (教 養・ 専門)	領 域	科 目 番 号	幅広い教養と語 學力を身につ け、それに裏打 ちされた広い視 野と高い倫理觀 をもって、交通機 械の發展に貢獻 する意思と能 力を有する。	機械工学と交 通 機械工学に関し て、生涯にわたり 主体的、自立的 に探究する能力 を身につけ、さら に、社会において それらの課題 解決に向けて協 働して取り組むこ とのできる能力を 有する。	機械工学と交 通 機械工学に関し て、生涯にわたり 主体的、自立的 に探究する能力 を身につけ、さら に、社会において それらの課題 解決に向けて協 働して取り組むこ とのできる能力を 有する。	①教養教育は、外 国語、体育科学、人 文科学、社会科学等の 教養科目と数学、物 理学、化学、技術者 倫理等の理工学基 礎科目により編成さ れる。これらの科目 を学ぶことにより機械 工学の基礎から応用へ の順次性を保ちなが る。科目相互を体系的 に編成している。講義 科目と、それに関連す る演習・実験・実習が 機械工学として幅広い 視野と倫理觀を養う と共に、交通機械工 学の専門教育に進む 上で多くのできな い知識を養うことがで きないようにする。	②専門教育では、交 通機械工学の専門知識 を深めるために機械工 学の基礎から応用へ の順次性を保ちなが る。科目相互を体系的 に編成している。講義 科目と、それに関連す る演習・実験・実習が 機械工学として幅広い 視野と倫理觀を養う と共に、交通機械工 学の専門教育に進む 上で多くのできな い知識を養うことがで きないようにする。	③教養教育で能動的学 修の要素を取り入れた 教育を用意する。さ らに、専門教育では機械 工学と交通機械工学を 学ぶ動機付けの教育を 行うと共に、複数の科 目でそれに関連する演 習・実験・実習科目を実 施して、能動的学修を 行うことができるよう にする。最終学年の年次 で行う卒業研究では、 機械技術者と 社会の要望に自在 に対応して問題を解決 する能力を養うことが できるようになる。	④交通機械工学科で は、シラバスに示した 内容に基づいて厳格 に成績評価して単位 認定する。学生個別 の成績表にもそれを 記載して学修指導や 各種順位づけに利用 できるようにする。ま た、成績や学修態度 を総合的に判断して 個別指導する体制を 整え、学生が各自の 達成度を把握し、将 来計画に応じた学修 を進めることができ るようにする。				
その他		TT31123	管理科学	TT	3	1	1	23			◎			◎			○		
		TT31124	エレクトロニクス I	TT	3	1	1	24			◎			◎			○		
		TT31125	エレクトロニクス II	TT	3	1	1	25			◎			◎			○		
		TT31126	計測工学	TT	3	1	1	26			◎			◎			○		
		TT11105	交通機械工学実習 I	TT	1	1	1	05	◎					○	◎	○			
		TT21118	交通機械工学実習 II	TT	2	1	1	18	◎					○	◎	○			
		TT21119	交通機械工学実習 III	TT	2	1	1	19		◎				○	◎	○			
		TT31127	交通機械工学実験 I	TT	3	1	1	27	◎					○	◎	○			
		TT31128	交通機械工学実験 II	TT	3	1	1	28	◎					○	◎	○			
		TT41103	ゼミナール	TT	4	1	1	03			◎			○	◎	○			
		TT41104	卒業研究	TT	4	1	1	04			◎			○	◎	○			
		TT12001	データサイエンス・AI応用基礎 I	TT	1	2	0	01	◎					◎		○			
		TT22001	データサイエンス・AI応用基礎 II	TT	2	2	0	01	◎					◎		○			